

平成30年度 事業報告書

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

1 事業の成果

知的・精神・肢体不自由など様々な障害がある人を対象に、今年度も多様なワークショップを定期的に提供した。

作品展示、ライブペイントやダンスなど、創作活動を発表する機会は、昨年度以上に増えた。内訳をみると、自主活動のみならず委託による制作や展示（事業としての発表）が着実に増えている。毎年2回主催している展覧会のほか、県内外より展示依頼もあった。

また、通年にわたり神奈川県や小田原市など行政と連携したイベント運営に関わった。現在もさまざまな案件で、企画段階からの参画への声かけがあり、当法人の事業内容が社会的に評価され、必要とされ始めていることを実感している。

これらの活動により、言葉で表現することが苦手な人たちが、新たな自己表現の可能性を見出し、自己選択が行えるなどの成長がみられている。

対外的には、作品が広範囲へ発信されたことにより、障害者の表現活動の魅力への気づきや、障害理解を深めるきっかけとなった。

当法人が運営する就労継続支援B型事業所では、小田原市を中心とする3市5町より通所され、日々の創作活動の充実を求めていることが、利用者の増加から伺える。また、アートディレクター監修による企業とのコラボレーションが多数実現した結果、工賃向上への実績となり、障害者の表現活動が対価として捉えられていることが立証された。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 芸術活動及び生涯学習を通じた障害児者の自立促進事業

ア 障害児者の創作活動の事業

- ・内 容 アートディレクターによるアートワークショップ開催
- ・日 時 H 30/4/1～31. 3. 31 全20回
- ・場 所 久野アトリエ（小田原市久野 906-102）ほか
- ・従事者人員 講師を含むボランティア 延べ 100人
- ・受益対象者 障がいのある方 延べ 337人

イ 美術・音楽やスポーツに関する体験事業

- ・内 容 河口湖音楽祭と箱根彫刻の森美術館研修旅行
- ・日 時 H30. 8. 19～20

- ・場 所 山梨県
- ・従事者人員 スタッフ2名、ボランティア3名
- ・受益対象者 障がいのある方と保護者 22名

ウ あれこれ体験に関する事業

- ・内 容 講師による各種ワークショップを通年にわたり企画開催した。

<親子でヨガワークショップ>

- ・日 時 H30.4.1～31.3.31 全17回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ2名
- ・受益対象者 障がいのある方と保護者 延べ122人

<織りワークショップ>

- ・日 時 H30.4.1～31.3.31 全21回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 スタッフ1名
- ・受益対象者 障がいのある方 延べ37人

<英語ワークショップ>

- ・日 時 H30.4.1～31.3.31 全17回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ3名
- ・受益対象者 障がいのある方 延べ113人

<陶芸ワークショップ>

- ・日 時 H30/9月、31/1月、3月 全3回
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ2名
- ・受益対象者 障がいのある方 延べ26人

<料理ラボ>

- ・日 時 H30/4月、6月、11月、31/1月、2月 全5回
- ・場 所 小田原ガスショールームエコリア、久野アトリエ
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ4名
- ・受益対象者 障がいのある方と保護者 延べ75人

<ダンスワークショップ>

- ・内 容 舞踏家の松岡大さんを招き、障害の有無に関係なく共に自由に体で表現するワークショップを行った。

- ・日 時 H30/8月、10月、H31/3月 全3回
- ・場 所 小田原市立三の丸小学校アリーナおよび市民会館小ホール
- ・従事者人員 講師を含むスタッフ 10名
- ・受益対象者 障がいのある方と保護者、一般より 延べ 60人

<フラダンスレッスン>

- ・内 容 医師らのフラダンスチーム「マーラ・マ・ポノ」の協力により、フラダンスの指導を受けて13年になる。今では、障がいのある人達だけでステージ依頼が受けられるまでになった。
- ・日 時 毎月第4木曜日 全10回
- ・場 所 小田原市保健センター
- ・従事者人員 講師を含むボランティア 5名
- ・受益対象者 障がいのある人と保護者 延べ 100人

エ 制作物の販売事業

- ・内 容 創作活動による作品を販売やアートリース、著作権を使用したつながるカード（デザイン名刺）、ステーションナリー、クラフト雑貨を製造販売。
- ・日 時 通年
- ・場 所 <小田原市内> 小田原市役所7F生活彩家、伊勢治文具店、万葉の湯小田原お堀端館、カフェリーフ、清閑亭、
<箱根町>箱根クラフトハウス（強羅公園）、箱根ラリック美術館ショップパッサージュ（仙石原）、瑞の香り（強羅）、天成園（箱根湯本）
<湯河原町> 青巒荘（奥湯河原）
<横浜市>野のすみれクリニック
<静岡県>いわなみキッチン
<その他>WEB販売 <http://artdevivre-odawara.jp>
- ・従事者人員 ボランティア含むスタッフ 延べ50名
- ・受益対象者 一般

② 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

ア 就労継続支援 B 型事業所アール・ド・ヴィーヴル

- ・内 容 18才以上の知的・精神・肢体・難病のある方を対象とし、就労継続支援サービスを行っている。主に、創作活動を中心とし、アート作品を制作販売、アートリース、展示から配達まで、オリジナルグッズの製作、ライブペイント出演、ブルーベリー農園の管理、収穫などを行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 小田原市久野906アネシスヒルズ102
- ・従事者人員 常勤職員2名、非常勤職員6名
- ・受益対象者 18才以上の障害のある方 延べ1920人

③ 障害児者の創作活動の紹介事業

ア 展覧会・啓発イベント事業

- ・内 容 展覧会を2回実施したほか、地域イベントへの積極的な参加と、企画展への作品リースを行った。また、企業や行政機関への作品リース件数が増え、障害のある人と出会ったことがなかった人との接点は着実に広がっている。同時に、TVや新聞、出版社より取材を受け、障害者アートが注目されている。

その他、自主上映会を一回主催し、障害者アートに関連する映画を一般公開した。

〈アール・ド・ヴィーヴル展 自分らしく生きる8〉

- ・日 時 H30/6/27～7/2 まで
- ・場 所 ギャラリーNEW 新九郎 (小田原ダイナシティ4F)
- ・従事者人員 ボランティア含め20人
- ・受益対象者 一般 来場者数750名(6日間)

〈アール・ド・ヴィーヴル展 自分らしく生きる9〉

- ・日 時 H30/10/5～18 まで
- ・場 所 鈴廣かまぼこ本店 かまぼこ博物館 (小田原市風祭)
- ・内 容 展覧会およびおたか静流の声のワークショップ
- ・従事者人員 職員およびボランティア含め 20人
- ・受益対象者 一般 来場者数1200名(14日間)

<映画 地蔵とリビドー上映会とトークショー>

- ・日 時 H31/2/3
- ・場 所 小田原市民会館小ホール
- ・従事者人員 職員およびボランティア含め 10人
- ・受益対象者 一般 来場者数 170名

<その他企画展への出展>

- ・日 時 通年
- ・場 所 富士宮EPO、横浜みなとみらいクイーンズスクエア人権メッセージ展、生活クラブ、神奈川県みんなつまれアートワーク4ヶ所、オーストラリアナショナルラグビーチームワラビーズ応援フラッグの展示（小田原市）、おだわら桜まつり（小田原蒲鉾組合）
- ・従事者人員 ボランティア含め20名
- ・受益対象者 一般

イ 広報・出版に関する事業

- ・内 容 活動紹介のためのニュースレターをH30年12月に発行。展覧会告知ポスター、フライヤー、DMを制作。障がいのある人たちの創作活動を紹介するため、SNSを活用し日々の活動を紹介。WEBサイト運営。
- ・日 時 通年
- ・場 所 久野アトリエ
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 一般

○平成31年3月31日現在の会員数 137名

- 内訳
- ・正会員 44名
 - ・賛助会員（個人）44名、（団体・法人）49団体